

2018年12月7日
丸紅株式会社
株式会社 ZMP

空港における自動運転の事業化を目的とした合弁会社の設立について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）と株式会社 ZMP（以下、「ZMP」）は、空港制限区域内での自動走行車両を用いた自動運転サービスの事業化を目指し、AIRO 株式会社（以下、「AIRO」）を共同で設立しました。

世界の航空旅客需要は堅調に推移しており、国内においても訪日外国人旅客数（以下、「インバウンド」）は増え続け、日本政府は 2020 年までに年間 4,000 万人達成を目標としています。一方、インバウンド増加による航空発着便数の拡大と生産年齢の人口減少に伴い、空港での航空機離着陸時に必要な地上支援業務の労働力不足が深刻な課題となっています。丸紅と ZMP は労働力不足という課題の解決に向け、丸紅の空港グランドハンドリング事業および航空分野におけるノウハウと ZMP の自動運転技術の開発力と実績を掛け合わせるべく、このたび合弁会社である AIRO の立ち上げに至りました。

丸紅は、2006 年にスイスポートジャパンを設立し、空港グランドハンドリング事業に参入しました。現在、成田・羽田・中部・関西・福岡の国内主要空港にて事業を展開し、10 年超に亘って空港内ビジネスのノウハウ・知見を蓄積してきました。その他、従来の航空機・エンジン販売や整備支援などの代理店ビジネスに留まらず、エンジン開発投資や航空機・エンジンリース、部品売買、宇宙ビジネスなどへも進出し、堅調な旅客需要の成長が見込まれる航空分野の事業拡大に取り組んでいます。

ZMP は、ロボット技術をベースに自動運転開発プラットフォーム RoboCar®シリーズや自動運転の統合コンピューターIZAC®などを中心に開発してきたベンチャーで、それらを自動運転車両管理システムなどとあわせて「自動運転プラットフォーム」として提供しています。さらに 2014 年に公道における実証実験を開始し、2018 年 8 月には日の丸交通と大手町～六本木間で世界初となる自動タクシーの営業運行を行うなど、都心部を中心に自動運転車両の走行試験を継続的に実施しています。また、日本初の宅配ロボット CarriRo® Deli の開発や実証実験を推進し、日本における自律移動技術開発の先駆者として「デモは卒業、商業化へ」をテーマに自律移動技術の実用化に取り組んでいます。

また、国土交通省では、空港における労働力不足に対応するため、2018 年 6 月に「空港制限区域内の自動走行に係る実証実験（以下、「実証実験」）」を公募し、2018 年 9 月に丸紅と ZMP は実証実験実施者に選定されました。実証実験については、2018 年 12 月 4 日に国土交通省プレスリリース(*)により公表されています。AIRO の事業活動の一環として、空港制限区域内における乗客・乗員の輸送を想定した実証実験を成田国際空港および中部国際空港にて実施する予定です。

AIRO では、実証実験の実施から自動運転車両および付随サービスの商品化・販売の検討など、深刻化する空港での労働力不足へのソリューション提供を通じて、日本の更なるインバウンド拡大に貢献していきます。

(*) 国土交通省プレスリリース (2018年12月4日)

空港制限区域内の自動走行に係る実証実験をスタートします！

～航空イノベーションの推進 地上支援業務の省略化・自動化に向けて～

http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku09_hh_000121.html

以上

<合弁会社概要>

会社名： AIRO 株式会社

所在地： 東京都中央区日本橋二丁目

設立： 2018年12月7日

株主構成： 丸紅 66%、ZMP34%

事業内容： ①実証実験への参加

②空港制限区域内での自動走行車両を用いた自動運転サービス事業の検討



左：ZMP 取締役 市橋徹

右：丸紅 航空・船舶本部 副本部長（兼）
航空宇宙・防衛システム部長 岡崎徹



実証実験で利用する車両イメージ

RoboCar® MiniVan

<報道機関お問い合わせ先>

丸紅株式会社 広報部報道課 (TEL : 03-3282-7732)

株式会社 ZMP プラットフォーム事業部 (TEL : 03-5844-6210)